

平成 27 年国勢調査
人口等基本集計結果
(奈良県)
概要版

奈良県総務部知事公室統計課

平成 28 年 10 月

この「平成 27 年国勢調査 人口等基本集計結果（奈良県）概要版」は、国（総務省）の「平成 27 年国勢調査 人口等基本集計結果」の公表（平成 28 年 10 月 26 日）を受け、奈良県の概要をまとめたものです。

詳細については、「平成 27 年国勢調査 人口等基本集計結果（奈良県）詳細版」として、平成 28 年 12 月に公表する予定です。

【「人口等基本集計結果（奈良県）詳細版」の主な内容（予定）】

[人口]

県の男女別人口、市町村の男女別人口
県・市町村の年齢別人口、平均年齢
人口ピラミッド など

[配偶関係]

県・市町村の男女別配偶関係(未婚、有配偶等)
年齢区分別配偶関係(未婚、有配偶等) など

[外国人]

県・市町村の男女別外国人人口
国籍別外国人人口 など

[世帯]

県・市町村の世帯数、県・市町村の世帯規模
家族類型別(単独、核家族等)の一般世帯数 など

[住居の状況]

県・市町村の住宅（持ち家等）に住む一般世帯数
住宅の建て方別(一戸建、共同住宅等)の一般世帯数 など

※赤字部分は、今回取りまとめた「概要版」には記載がなく、「詳細版」で集計・公表する予定の項目です。

数値のみかた

- ・本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しています。
- ・本文及び図表中の値は、表章単位未満を含んだ数値から算出しています。
- ・本文及び図表中の「総数」には不詳を含んでいることがあるため、内訳の合計が総数に一致しないことがあります。
- ・本文及び図表中の増減率等割合は、特に注記がない限り、分母から不詳を除いて算出しています。また、過去の割合も同様の方式で再計算しています。
- ・符号の用法
 - (1) 「0、0.0」…表章単位未満(四捨五入後)
 - (2) 「△」…負号

用語の解説

人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいいます。「常住している者」については、11ページの「調査の対象」を参照してください。

配偶関係

- ・未婚 まだ結婚したことのない者
- ・有配偶 届け出の有無に関係なく、妻又は夫のある者
- ・死別 妻又は夫と死別して独身の者
- ・離別 妻又は夫と離別して独身の者
- ・不詳 未回答などにより配偶関係が判断できない場合

世帯

世帯数は、昭和55年までは「普通世帯」及び「準世帯」(ただし、昭和10年は普通世帯のみ)、昭和60年以降は「一般世帯」及び「施設等の世帯」の2種類に区分しています。

- 〔普通世帯…間借り、下宿などの単身者及び会社などの独身寮の単身者を除いた一般世帯。〕
- 〔準世帯…普通世帯以外の世帯。〕

- 〔一般世帯…住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者など。〕
- 〔施設等の世帯…寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者など。〕

住居の状況

- ・持ち家以外 公営の借家、都市再生機構・公社の借家、民営の借家、給与住宅、間借り

1. 奈良県の人口 (平成27年10月1日現在)

○奈良県の人口 1,364,316人 [前回より36,412人(2.6%)減少]

(男性 643,946人、女性 720,370人)

○平成17年以降、減少傾向

※前回とは、平成22年10月1日現在の国勢調査結果を指す。(以下同様)

図1 奈良県の人口及び人口増減率の推移 (大正9年～平成27年)

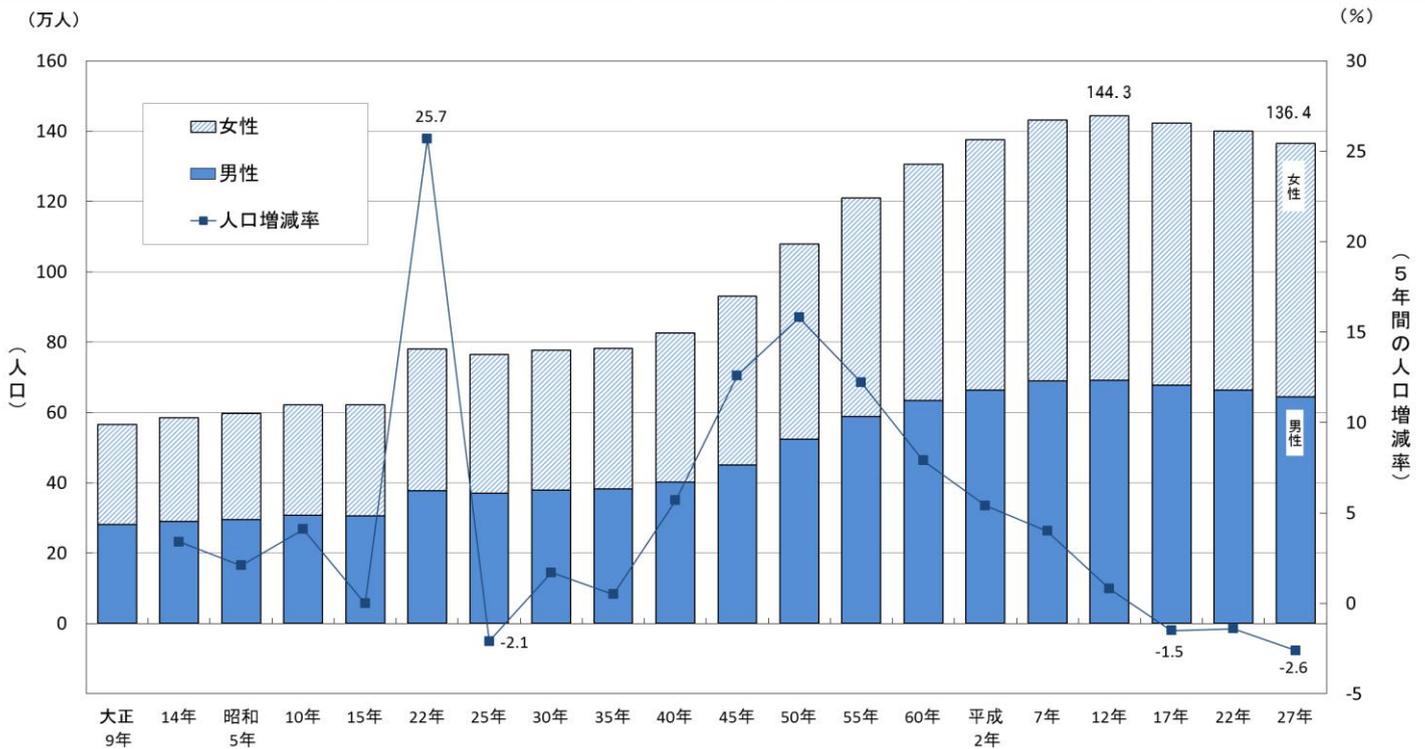


表1 奈良県の人口及び人口増減数(率)の推移 (大正9年～平成27年)

年次	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年
総人口(人)	564,607	583,828	596,225	620,471	620,509	779,935	763,883	776,861	781,058	825,965
男性	280,383	289,770	295,456	306,011	305,681	376,258	368,863	377,961	382,494	400,353
女性	284,224	294,058	300,769	314,460	314,828	403,677	395,020	398,900	398,564	425,612
増減数(人)		19,221	12,397	24,246	38	159,426	△ 16,052	12,978	4,197	44,907
人口増減率(%)		3.4	2.1	4.1	0.0	25.7	△ 2.1	1.7	0.5	5.7

年次	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口(人)	930,160	1,077,491	1,209,365	1,304,866	1,375,481	1,430,862	1,442,795	1,421,310	1,400,728	1,364,316
男性	450,668	523,633	587,067	632,955	663,591	688,741	691,098	676,375	663,321	643,946
女性	479,492	553,858	622,298	671,911	711,890	742,121	751,697	744,935	737,407	720,370
増減数(人)	104,195	147,331	131,874	95,501	70,615	55,381	11,933	△ 21,485	△ 20,582	△ 36,412
人口増減率(%)	12.6	15.8	12.2	7.9	5.4	4.0	0.8	△ 1.5	△ 1.4	△ 2.6

2. 市町村別の人口 (平成27年10月1日現在)

○人口が多い上位3市町村 奈良市 360,310人 橿原市 124,111人 生駒市 118,233人

○人口が少ない上位3市町村 野迫川村 449人 上北山村 512人 黒滝村 660人

○前回に比べ人口が増加した市町村(6市町)

増加数が多い上位3市町村 香芝市 2,334人 王寺町 843人 葛城市 776人

増加率が高い上位3市町村 王寺町 3.8% 香芝市 3.1% 葛城市 2.2%

○前回に比べ人口が減少した市町村(33市町村)

減少数が多い上位3市町村 奈良市 $\Delta 6,281$ 人 大和高田市 $\Delta 3,634$ 人 五條市 $\Delta 3,463$ 人

減少率が高い上位3市町村 上北山村 $\Delta 25.0\%$ 黒滝村 $\Delta 21.4\%$ 川上村 $\Delta 20.1\%$

図2 市町村別人口 (平成27年10月1日現在)

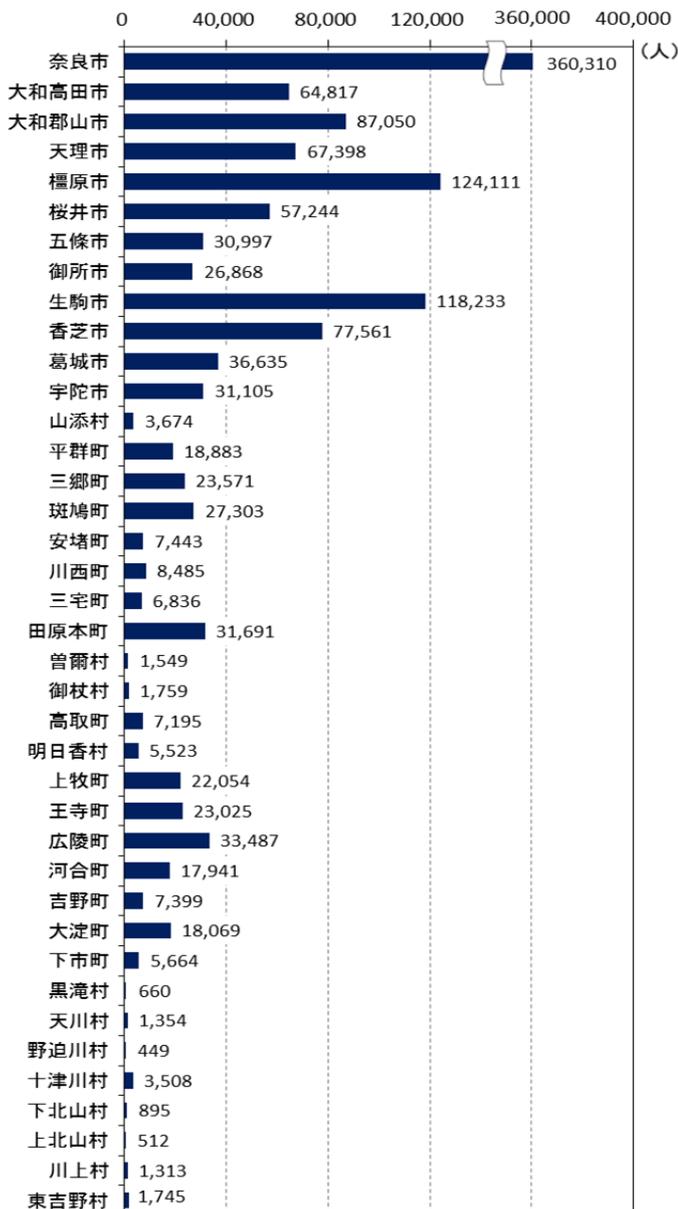


図3 市町村別人口増減数(平成22年~27年)

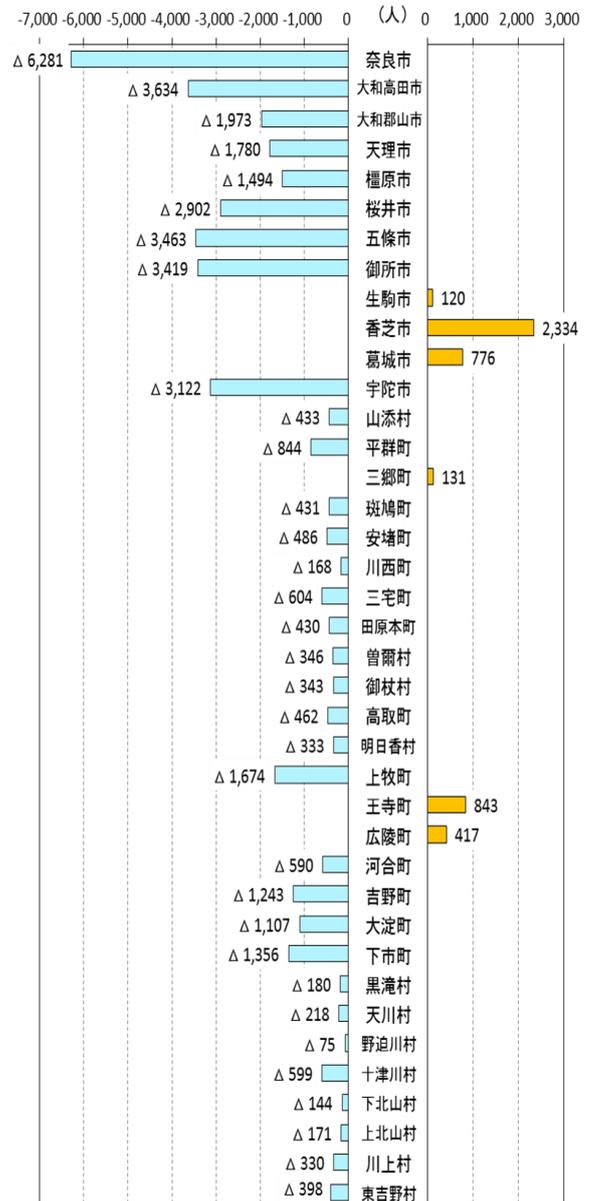
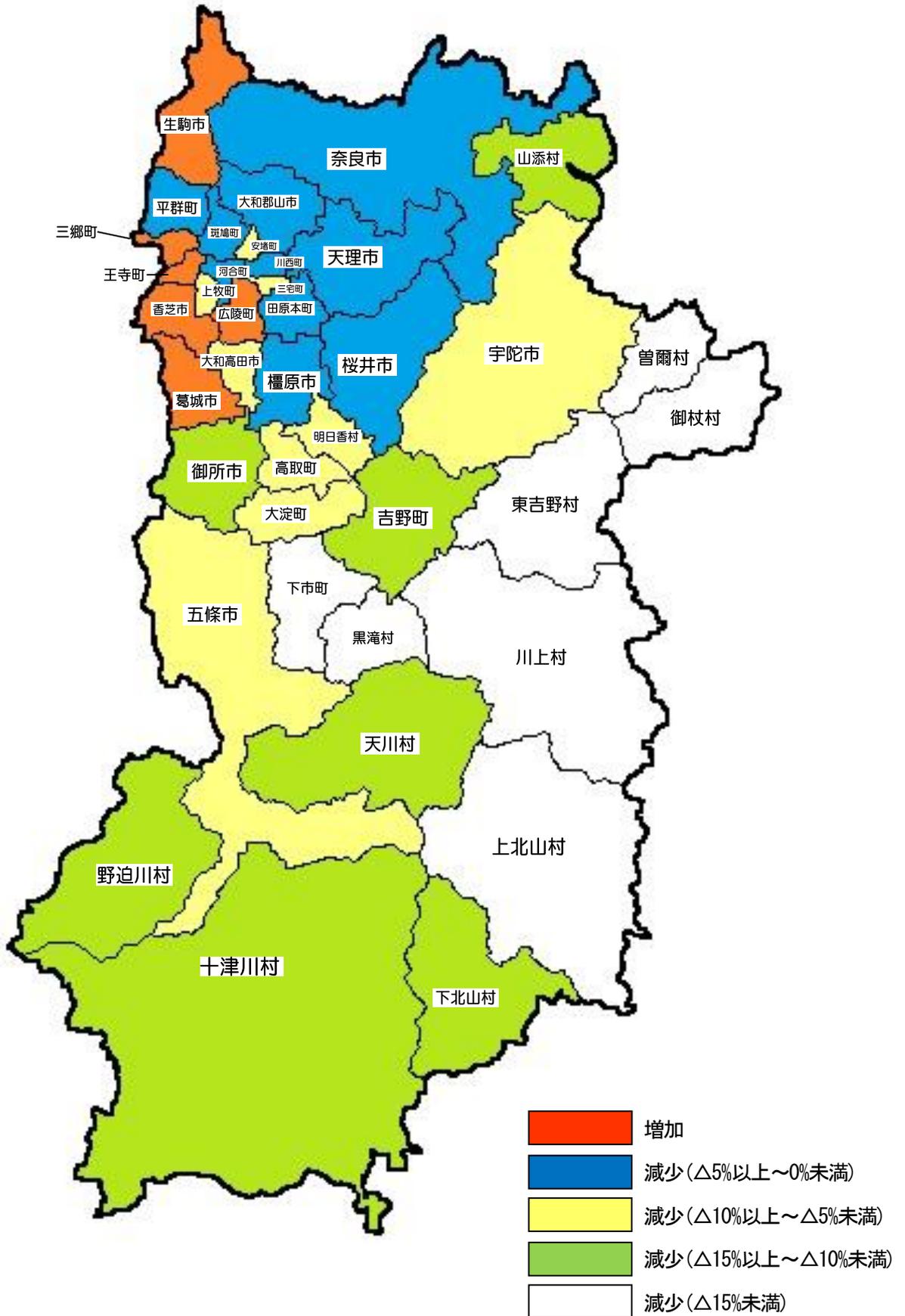


図4 市町村別人口増減率(平成22年~27年)



3. 奈良県の年齢別人口(平成27年10月1日現在)

- 15歳未満人口 168,970人(県人口の12.5%[前回より0.7ポイント減少])
- 15～64歳人口 796,552人(県人口の58.8%[前回より4.0ポイント減少])
- 65歳以上人口 388,614人(県人口の28.7%[前回より4.7ポイント増加])

図5 奈良県の年齢別(3区分)人口の推移(平成7年～27年)

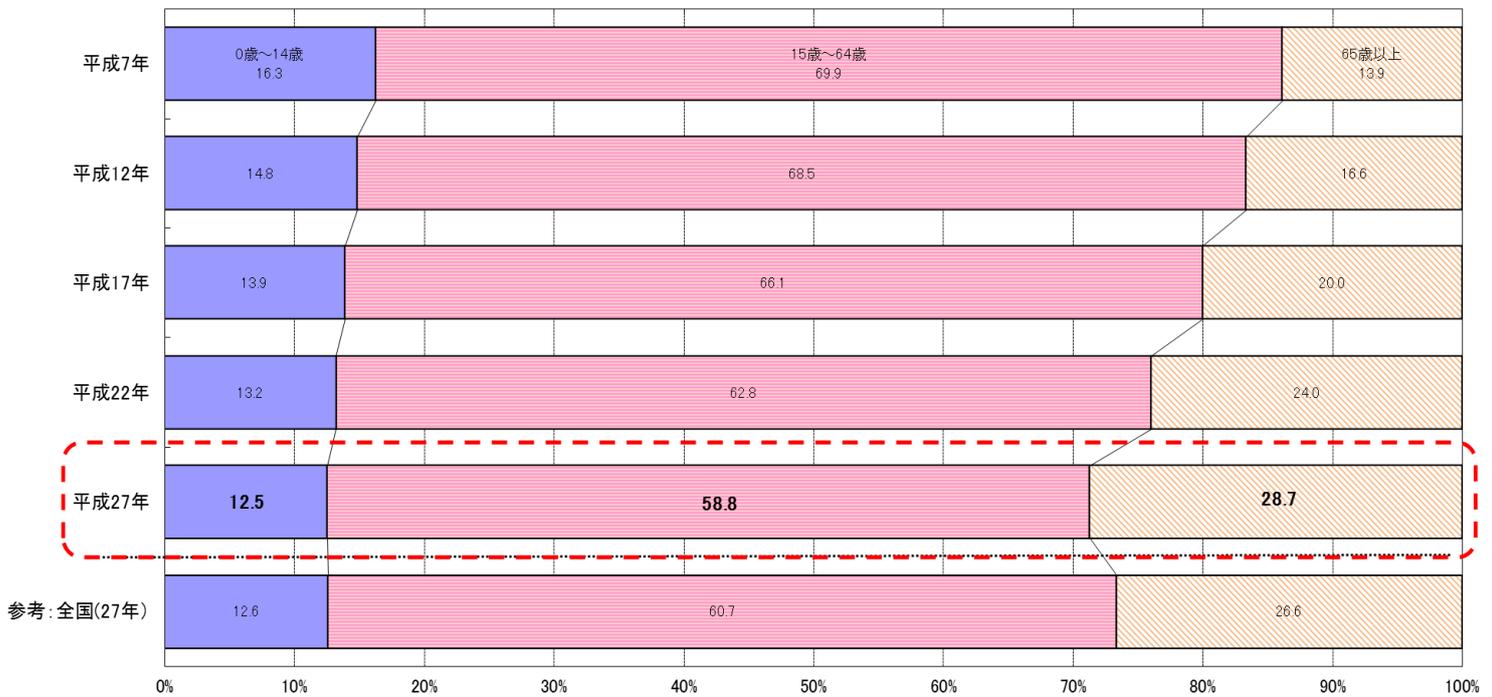


表2 奈良県の年齢別(3区分)人口と人口増減率の推移(平成7年～27年)

年次	実数(人)				割合(%)		
	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上	総数(※)	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
平成7年	232,418	999,261	198,192	1,430,862	16.3	69.9	13.9
平成12年	213,822	987,435	239,432	1,442,795	14.8	68.5	16.6
平成17年	197,136	938,702	283,528	1,421,310	13.9	66.1	20.0
平成22年	184,011	875,062	333,746	1,400,728	13.2	62.8	24.0
平成27年	168,970	796,552	388,614	1,364,316	12.5	58.8	28.7
参考: 全国(27年)	15,886,810	76,288,736	33,465,441	127,094,745	12.6	60.7	26.6

(※)総数には年齢不詳を含む

4. 奈良県の配偶関係 (平成27年10月1日現在)

○有配偶の割合 60.5% (男性 64.4%、女性 57.0%)

○未婚の割合 25.5% (男性 28.5%、女性 22.9%)

図6 奈良県の配偶関係、男女別15歳以上人口の割合 (平成22年, 27年)

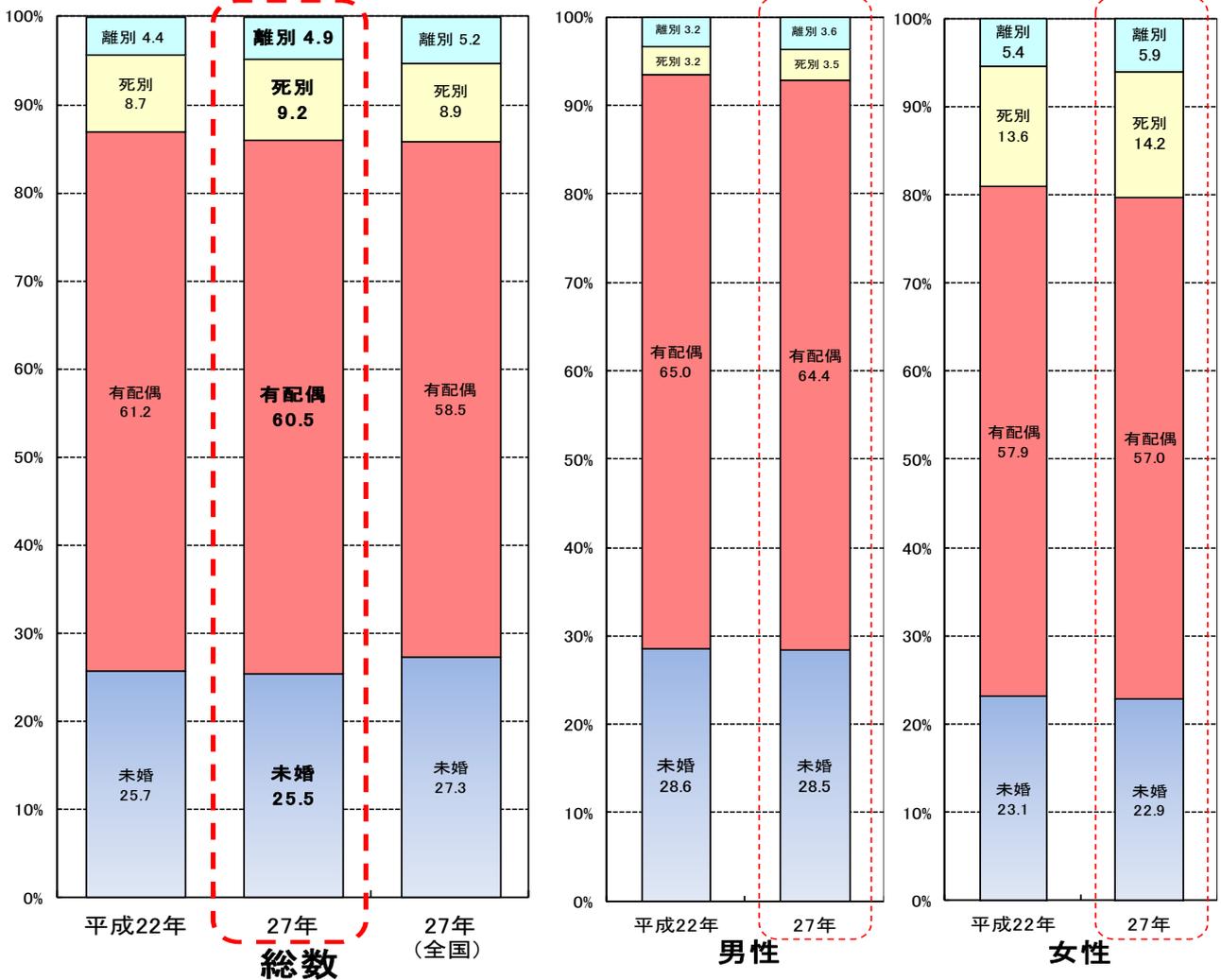


表3 奈良県の配偶関係、男女別15歳以上人口と人口の割合 (平成22年, 27年)

	総数				男性				女性			
	実数(人)		割合(%)		実数(人)		割合(%)		実数(人)		割合(%)	
	平成22年	27年	平成22年	27年	平成22年	27年	平成22年	27年	平成22年	27年	平成22年	27年
未婚	307,429	299,333	25.7	25.5	159,943	155,744	28.6	28.5	147,486	143,589	23.1	22.9
有配偶	732,256	710,302	61.2	60.5	363,664	352,547	65.0	64.4	368,592	357,755	57.9	57.0
死別	104,656	108,311	8.7	9.2	18,028	18,928	3.2	3.5	86,628	89,383	13.6	14.2
離別	52,571	57,058	4.4	4.9	18,154	19,932	3.2	3.6	34,417	37,126	5.4	5.9

5. 奈良県内に在住する外国人 (平成27年10月1日現在)

○奈良県内に在住する外国人数 8,726人 [前回より529人減少]

○奈良県人口に占める外国人の割合 0.64% [前回より0.02ポイント減少]

図7 奈良県内に在住する外国人人口と人口の割合 (平成7年～27年)

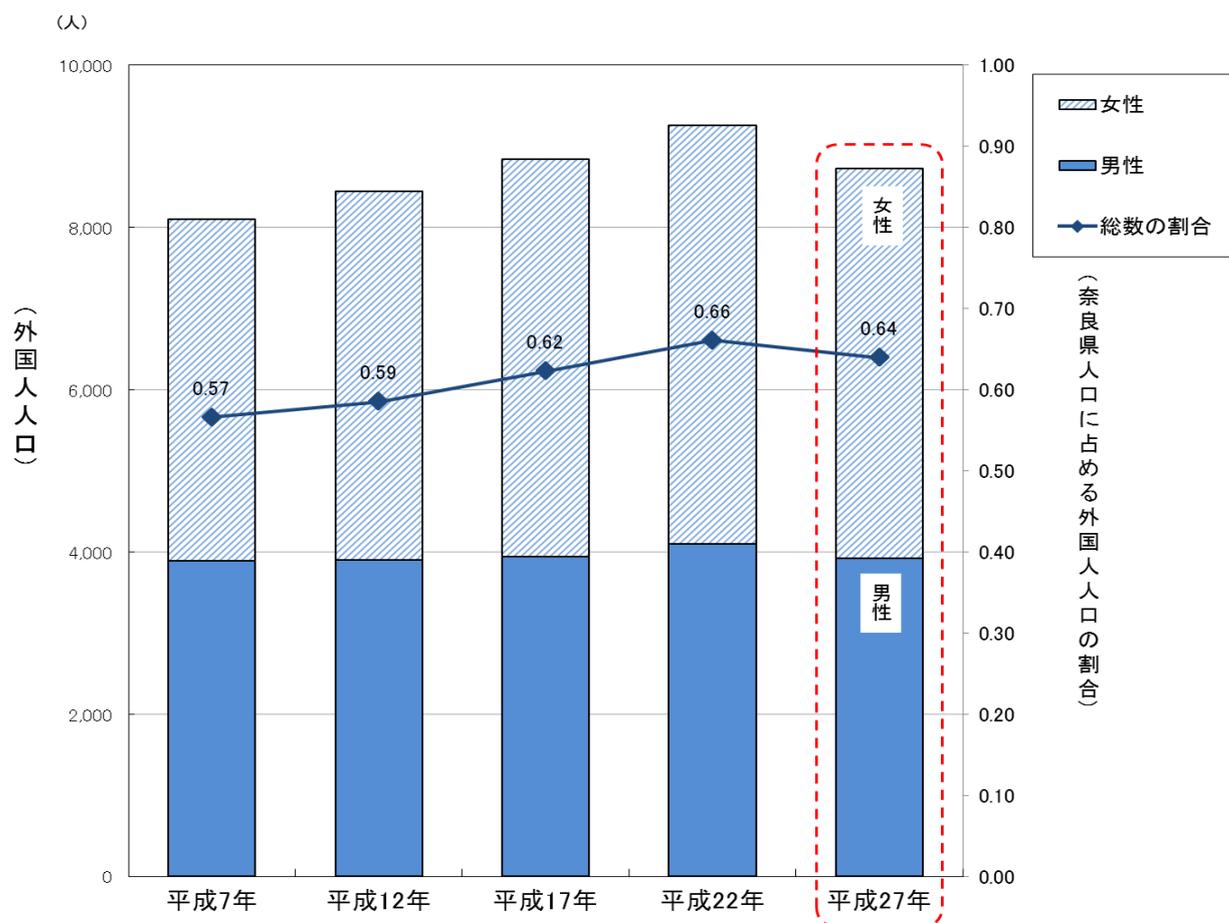


表4 奈良県内に在住する外国人人口と人口割合の推移 (平成7年～27年)

	年次	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
実数 (人)	男	3,888	3,901	3,949	4,102	3,924
	女	4,213	4,542	4,899	5,153	4,802
	総数	8,101	8,443	8,848	9,255	8,726
割合 (%)	男	0.56	0.56	0.58	0.62	0.61
	女	0.57	0.60	0.66	0.70	0.67
	総数	0.57	0.59	0.62	0.66	0.64

6. 奈良県の世帯 (平成27年10月1日現在)

○奈良県の世帯数 530,221 世帯 [前回より 6,698 世帯 (1.3%) 増加]

○昭和30年以降、増加傾向

○奈良県の1世帯当たり人員は 2.57 人 [前回より 0.11 人 (4.1%) 減少]

図8 奈良県の世帯数及び世帯増減率の推移(大正9年～平成27年)

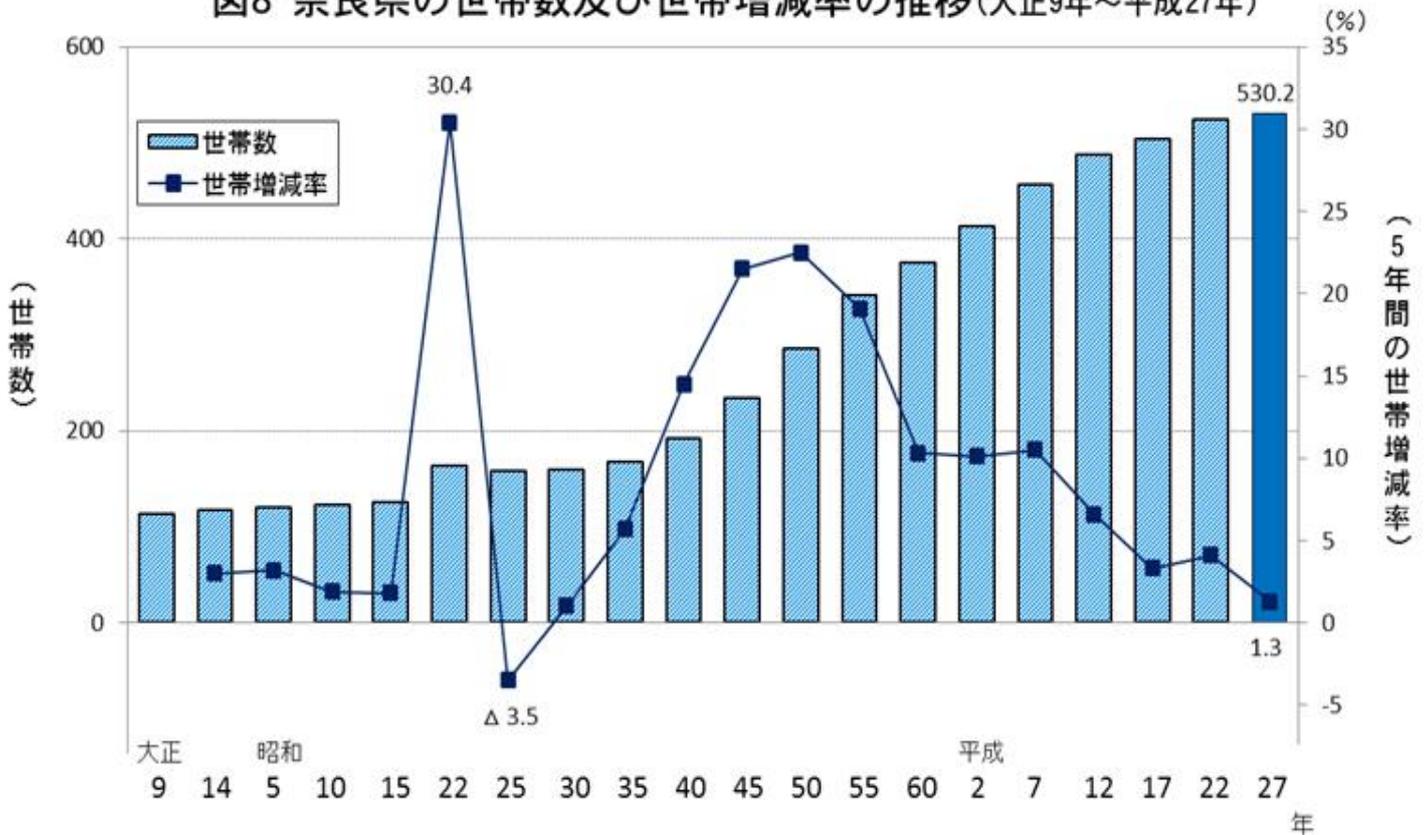


表5 奈良県の世帯数と世帯増減数(率)の推移(大正9年～平成27年)

年次	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年
世帯数(世帯)	113,178	116,623	120,297	122,531	124,775	162,760	157,102	158,643	167,650	191,911
増減数(世帯)		3,445	3,674	2,234	2,244	37,985	△ 5,658	1,541	9,007	24,261
増減率(%)		3.0	3.2	1.9	1.8	30.4	△ 3.5	1.0	5.7	14.5

年次	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
世帯数(世帯)	233,258	285,785	340,335	375,311	413,323	456,849	486,896	503,068	523,523	530,221
増減数(世帯)	41,347	52,527	54,550	34,976	38,012	43,526	30,047	16,172	20,455	6,698
増減率(%)	21.5	22.5	19.1	10.3	10.1	10.5	6.6	3.3	4.1	1.3

7. 市町村別の世帯 (平成27年10月1日現在)

○世帯数が多い上位3市町村 奈良市148,920世帯 橿原市49,923世帯 生駒市45,593世帯

○世帯数が少ない上位3市町村 野迫川村227世帯 上北山村270世帯 黒滝村311世帯

○前回に比べ世帯数が増加した市町村(16市町)

増加数が多い上位3市町村 香芝市1,671世帯 奈良市1,499世帯 橿原市1,183世帯

増加率が高い上位3市町村 王寺町7.2% 香芝市6.4% 葛城市5.5%

○前回に比べ世帯数が減少した市町村(23市町村)

減少数が多い上位3市町村 五條市△539世帯 宇陀市△372世帯 上牧町△283世帯

減少率が高い上位3市町村 上北山村△25.2% 十津川村△13.8% 川上村△13.5%

図9 市町村別世帯数(平成27年10月1日現在)

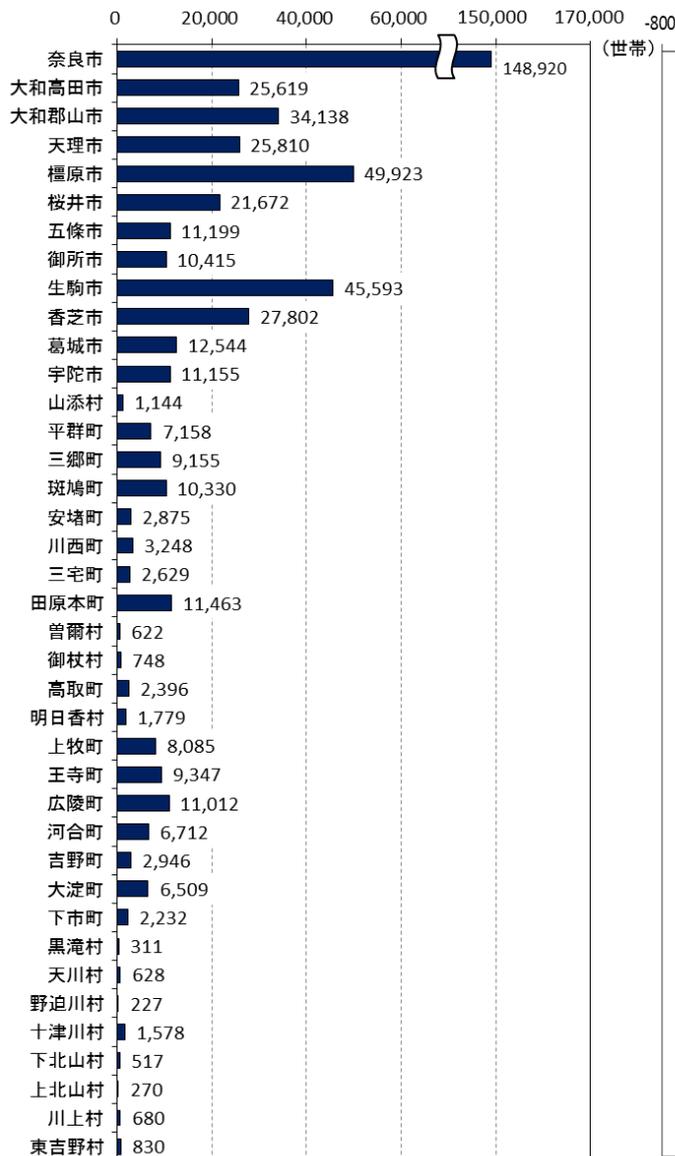


図10 市町村別世帯増減数(平成22年~27年)

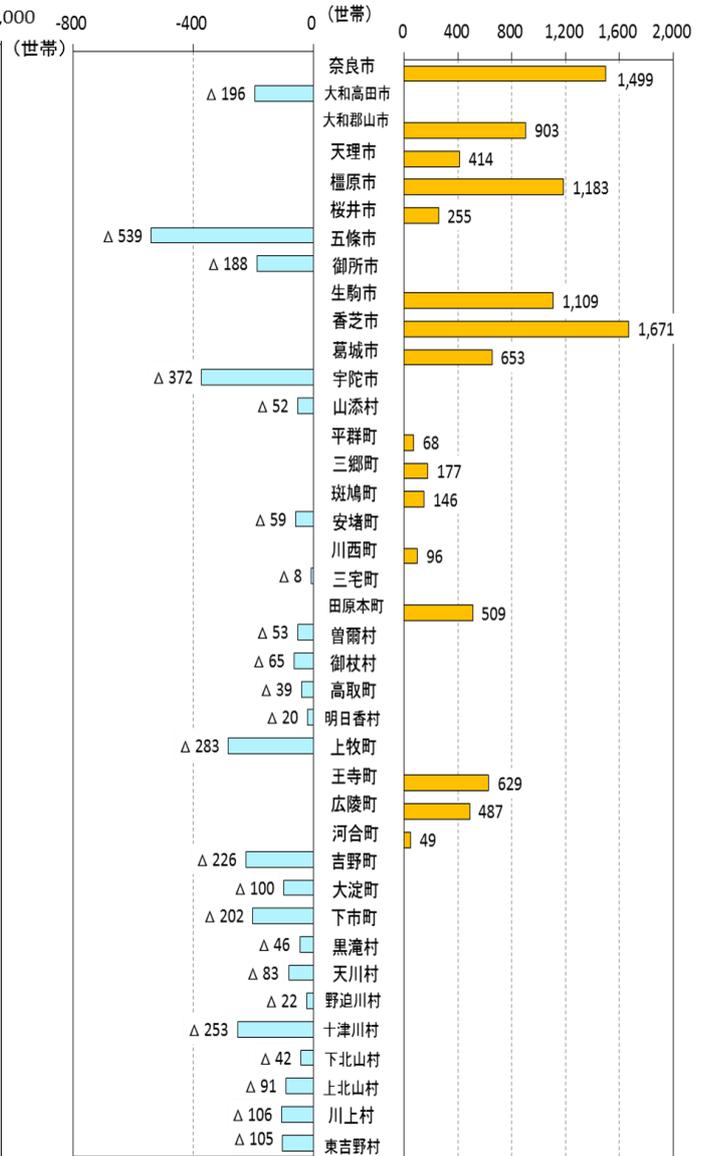
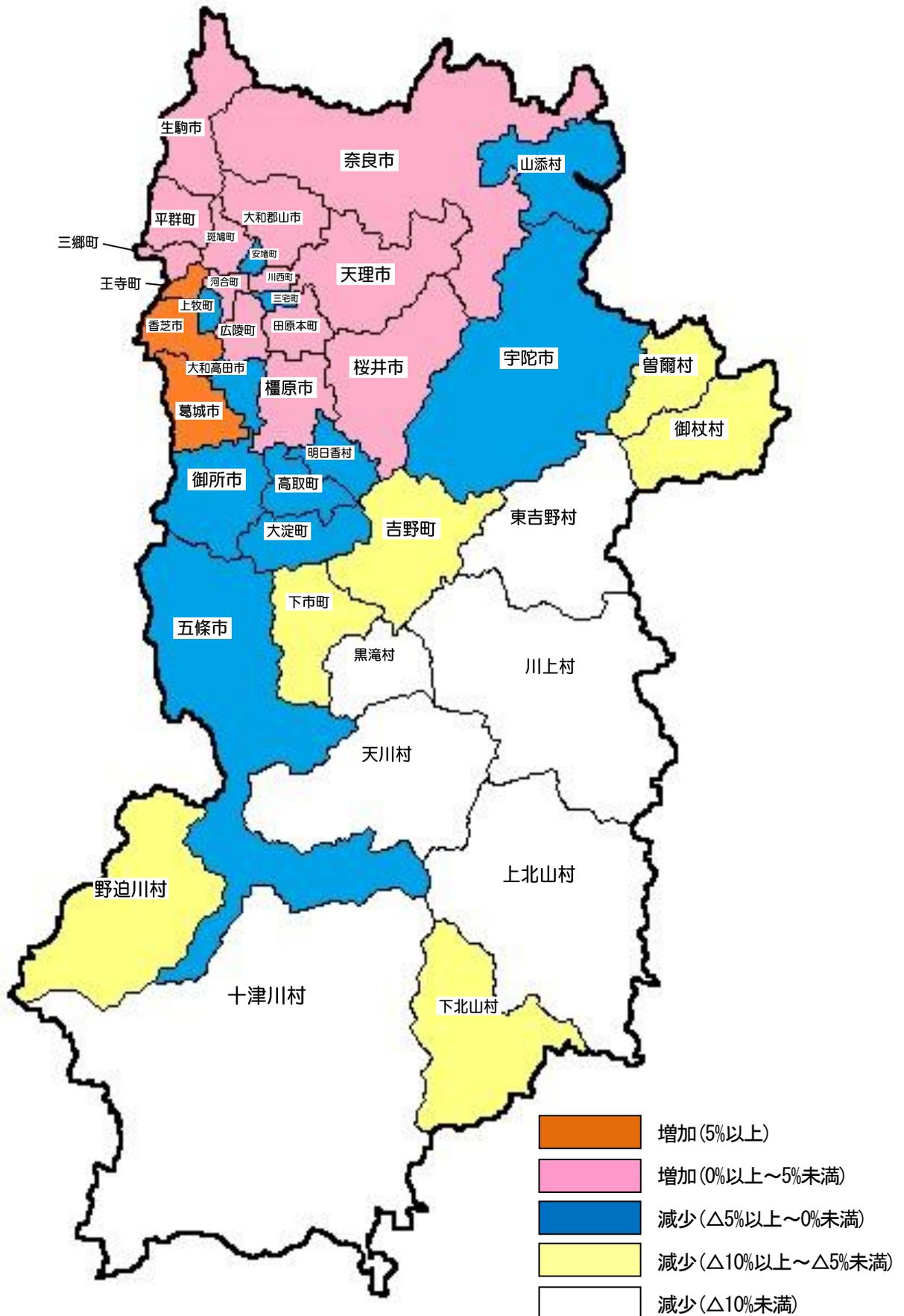


図 11 市町村別世帯増減率(平成 22 年～27 年)



8. 奈良県の住居の状態 (平成27年10月1日現在)

○持ち家に住む世帯 383,290 世帯 [前回より 7,516 世帯 増加]

図12 奈良県の住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移 (平成7年～27年)

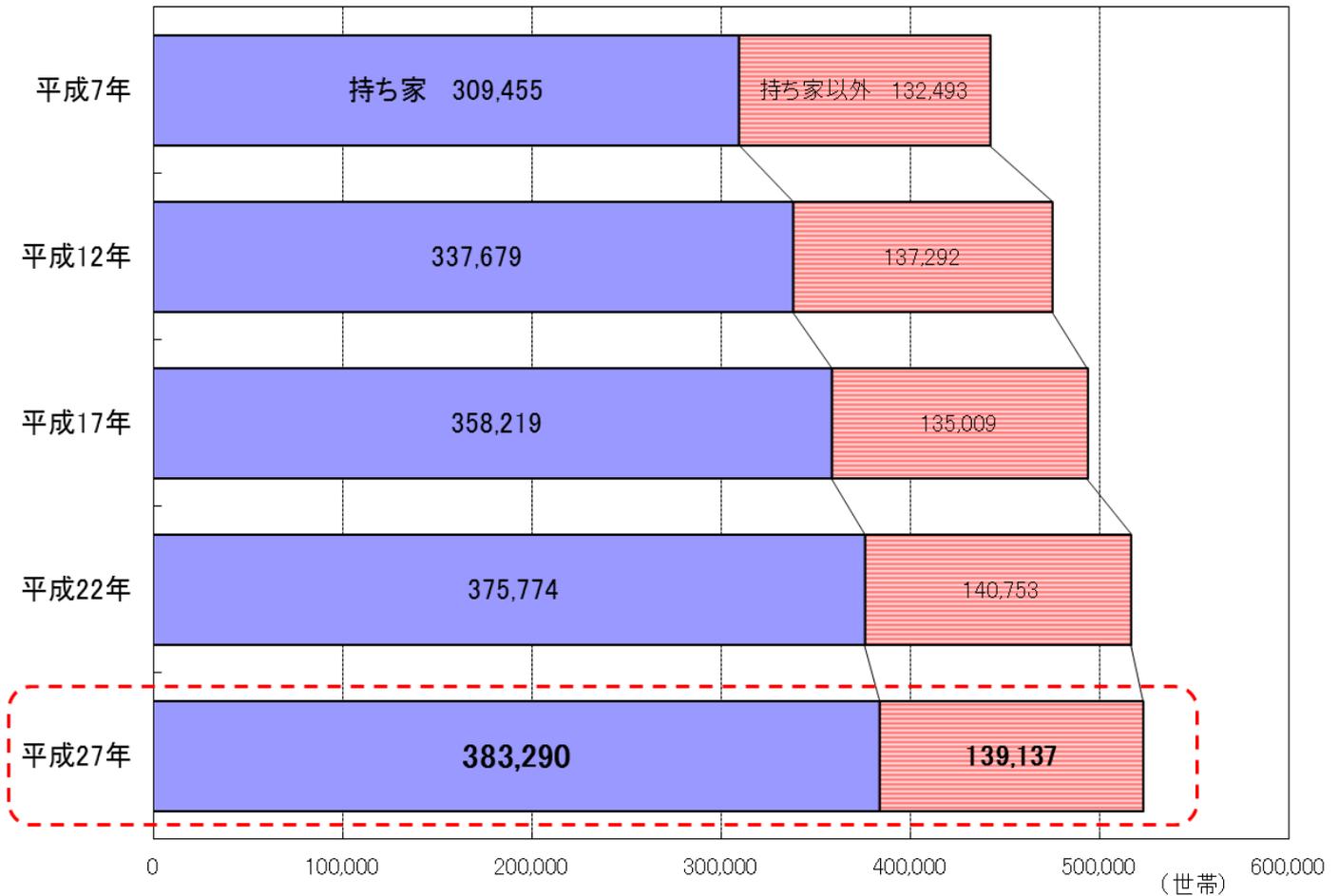


表6 奈良県の住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移 (平成7年～27年)

(世帯)

年次	持ち家	持ち家以外	総数
平成7年	309,455	132,493	441,948
平成12年	337,679	137,292	474,971
平成17年	358,219	135,009	493,228
平成22年	375,774	140,753	516,527
平成27年	383,290	139,137	522,427

平成 27 年国勢調査の概要

1 調査の目的

国勢調査は、我が国の人口、世帯、産業構造等の実態を明らかにし、国及び地方公共団体における各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として行われる国の最も基本的な統計調査である。調査は大正 9 年以来ほぼ 5 年ごとに行われており、平成 27 年国勢調査はその 20 回目にあたる。

2 調査の時期

平成 27 年国勢調査は、平成 27 年 10 月 1 日午前零時(以下「調査時」という)現在によって行われた。

3 調査の根拠法令

平成 27 年国勢調査は、統計法(平成 19 年法律第 53 号)第 5 条第 2 項の規定並びに次の政令及び総務省令に基づいて行われた

国勢調査令(昭和 55 年政令第 98 号)

国勢調査施行規則(昭和 55 年総理府令第 21 号)

国勢調査の調査区の設定の基準等に関する省令(昭和 59 年総理府令第 24 号)

4 調査の対象

平成 27 年国勢調査は、調査時において、本邦内に常住している者について行われた。

ここで「常住している者」とは、当該住居に 3 か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3 か月以上にわたって住んでいる又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在居た場所に「常住している者」とみなした。

本邦内に常住している者は外国人を含めてすべて調査の対象としたが、次の者は調査から除外した。

- (1) 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員(随員を含む。)及びその家族
- (2) 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

5 調査事項

- ・世帯員に関する事項 … 男女の別、出生の年月など 13 項目
- ・世帯に関する事項 … 世帯の種類、世帯員の数など 4 項目 計 17 項目

6 調査の方法

調査は、国勢調査員又は調査員事務を受託した事業者(以下「調査員等」という。)が、下記の方法により行った。

- (1) 調査員等は、担当する地域の全ての世帯にインターネット回答の利用案内を配布する。

世帯は、9 月 10 日～20 日の期間にインターネット回答を行う。

- (2) その後、調査員等はインターネット回答のなかった世帯に調査票等を配布する。

世帯は、記入した調査票をそのまま調査員等に提出するか、又は郵送により提出することにより回答を行う。

総務省統計局 - 都道府県 - 市町村 - 国勢調査指導員 - 調査員等 - 世帯

(参考) 総務省統計局による調査結果の公表

集計区分		公表
基本集計	人口等基本集計	平成 28 年 10 月 26 日
	就業状態等基本集計	平成 29 年 4 月 予定
人口移動集計	移動人口の男女・年齢等集計	平成 29 年 1 月 予定
従業地・通学地集計	従業地・通学地による人口・就業状態等集計	平成 29 年 6 月 予定